

国際ベビー・ヤング用品見本市2013

2013年9月19日(木) ~22日(日)

ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

Kind + Jugend : 国際ベビー・ヤング用品見本市2013素晴らしい成果を残して閉幕

- ・ 新記録：出展企業が初めて1,000社を突破
- ・ 出展者、ビジターともに高い国際性
- ・ 子供用家具のデザインに関心集まる

世界110ヵ国からの20,000人以上の来場者が、45ヵ国から出展した1,014社のブースを訪問するという素晴らしい結果をもって、今年の国際ベビー・ヤング用品見本市は9月22日(日)に終了しました。4日間にわたって会場は活況を呈し、出展者は約10万平方メートルの展示スペースを使って子供用家具、チャイルドシート、各種テキスタイル、ベビーカー、ベビーケア用品、おもちゃ、ベビー服などの分野で革新的な製品や最新製品を展示しました。出展者の80%以上が海外企業、来場者も海外からの来訪が約70%と国際性の高さは昨年同様となりました。

「例年通り国際色が豊かで、出展内容も毎年レベルアップしていることで、Kind+Jugendは世界のベビー・ヤング用品業界をリードする見本市としてのステータスをさらに高めることができました」と総括するのは、ケルンメッセ副社長のカタリーナ・C・ハマ氏です。加えて「今回ファッション部門を分離して別のメッセChildren's Fashion CologneメッセChildren's Fashion Cologneに統合しましたが、Kind+Jugendの人気は衰えませんでした」と述べています。

今回は、特に米国とアジアからのビジター増加が顕著でした。これらの市場での当見本市の重要性が高まっているということです。上海を拠点とする中国玩具・年少児用品協会(China Toy & Juvenile Products Association : CTJPA)のXiaoguang Shi会長は、ケルン来訪に際して次のようにコメントしました。「この見本市は、ベビー・ヤング用品業界の世界標準を決定するものです。アジア圏でも有力バイヤーはそれを認識しています。ケルンに来る価値は必ずあるのです。Kind + Jugendと、そのパートナー見本市であるChina Kids Expo は、理想的な形でお互いを補完し、世界の市場を効率良くカバーしています」。ドイツで最も重要なバイヤーの連盟“EK/Servicegroup”役員のベルント・ホーレンキャンプ氏は、Kind + Jugendが業界で中心的な役割を果たしていると強調します。「今回Kind + Jugendで“おもちゃ”と“ベビー”という2つの商品領域を密に結びつけたのは、近年急がれていた当然の措置でした。業種を横断する我々の連盟でも、まさにこの2分野で同じ展開を予測し、相応に対応してきました。その意味で当連盟にとってKind + Jugendは重要な見本市です。ここ数年で内容もかなりレベルアップしました」。

Kind + Jugendは、ほとんどの大手有力企業が一堂に会するトップクラスの展示内容で、これにふさわしい来場者を獲得しました。国際的な卸売業者、有力バイヤー、購買関係の各連盟、そして中小規模の小売店まで、Kind + Jugend は業界で今年一番の出会いの場となったのです。製品発注、トレンド情報の収集、そして新たなビジネスコンタクトが生まれるプラットフォームとして、この専門見本市は業界に不可欠の存在です。このことは来場者アンケートの結果にも表れています。来場者の85%が所期の目的を果たせて「満足」、または「非常に満足」と回答

し、90%以上がこの見本市をビジネスパートナーに薦めると答えています。

家具デザインが新たな焦点に

今回新たに開設されて好評を博したのは、ホール10.1のデザインパークでした。約250平方メートルの展示スペースを使って、国際デザイン集団"kidsroomZOOM!"が子供部屋のためにセレクトしたデザイン家具を発表、中にはドイツ初公開の製品もありました。世界中から約40人のデザイナーがこの新しいタイプの展示イベントに参加しました。ホール3と11の間のスペースでは、イニシアティブグループ"Afilii"が、16カ国のデザイナーがデザインしたおもちゃ、インテリア製品、子供用家具を展示しました。これら2会場の特別展示に加えて、出展者における子供用家具メーカーの比率も高く、Kind + Jugendは全体として子供部屋の家具デザインとライフスタイルの重要度が増していることを反映するものでした。

市場の透明性高まり、さらにクオリティ向上

ケルンメッセは従来から、Kind + Jugendのクオリティ面でのレベルアップを重要視してきました。今年新しい"トレンドフォーラム"がビジターに展示以外の付加価値を提供したことも、この趣旨に沿ったものです。多数の講演や公開ディスカッションで、世界中から参加した専門家たちがベビー・ヤング用品業界市場で話題のテーマについて発言しました。その内容は市場の最新動向、オンライン・オフライン市場の新しい供給チャンネル、平均的消費者像の調査、安全性をめぐるテーマ、また製品デザインの創造プロセス構築にまで及びました。トレンドフォーラムは会期中ずっと参加者で賑わい、来年も引き続き開催が予定され、内容もさらに充実する見込みです。

Kind + Jugend イノベーション賞2013

革新への旺盛な意欲と業界貢献度を正當に評価するため、Kind + Jugendでは特に優れた製品開発に対して毎年会期初日に「イノベーション賞」を授与しています。同賞は8部門に分かれており、国際的に通用する品質基準として、また受賞作の商品力を表すものとして一目置かれるようになりました。今回は24カ国から145社が、183の製品を出品しました。

Kind + Jugend イノベーション賞2013の受賞者：

World of Moving Baby: **"Greentom Upp"- Greentom Operations B.V.** (オランダ)

World of Travelling Baby: **"2wayPearl "- Dorel Europe** (オランダ)

World of Moving Baby & Travelling Baby Accessories: **"Dooky Buggy Bar"- Xplorlys B.V.** (オランダ)

World of Baby Safety at Home: **"Guard Me"- Baby Dan A/S** (デンマーク)

World of Baby Toys: **"Mingo" – Educational Toy Design GmbH** (オーストリア)

World of Baby Textiles: **"Seemless GelWire-Nursing Bra" – Carriwell ApS** (デンマーク)

World of Baby Care: **"MilkSense"- SML Success Ltd.** (イスラエル)

World of Baby Furniture: **"Evolu-Childhome" – Aerts N.V.** (ベルギー)

国際ベビー・ヤング見本市2013データ

- ・ 出展者数: 45 カ国 1,014社 (843社、80%以上が外国企業。ドイツ企業は 171 社)
- ・ 来場者数: 110 カ国 20,000 人 (外国人の比率 70%)

インフォメーション: www.kindundjugend.com

次回の国際ベビー・ヤング用品見本市は、2014年9月11日(木)～14日(日)にケルンメッセ会場で開催されます。

Children's Fashion Cologne 2014 は1月30日(木)～2月1日(土)に開催されます。

国際ベビー・ヤング用品見本市に関するお問い合わせは:

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-13-6 恵比寿ISビル5F

Tel: 03-5793-7770 / Fax: 03-5793-7771

e-mail: kmjpn@koelnmesse.jp URL: www.koelnmesse.jp